

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係
令和6年11月11日 / No.3

「こうやってやるんだよ」

わたしはさんすうがにがてです。むずかしいもんだいをとこうとしていたときにちかくのみんながおしえてくれてとてもうれしかったです。みんなが「こうやってやるんだよ。」とやさしく言ってくれました。うれしかったです。こんどはわたしがわからないもんだいをとこうとしている子がいたらおしえてあげようとおもいました。

「だいすき」

いもうとに言われる言葉。「だいすき」と言われるとうれしくなる。おかあさんやおばあちゃんにも言われるとうれしい。

「気をつけてな〜」

「気をつけてな〜」いつも、ひいばあちゃんの家から帰る時に言ってくれた当たり前の言葉。3月に天国に旅立ってしまったけれど、あの言葉は当たり前ではなく、心が安心できるまほうの言葉だったなあと、今なら思えます。

「どう思う？」

ぼくは登校中、のどがギョツとなって話せなくなります。そんな時でも、会話に入れてくれて、ぼくに「どう思う？」と声をかけてくれる友達があります。返事ができたらいいんだけど。話したいけど……。ごめんね。ありがとう。と、ぼくは心の中で思っています。

「どうしたの？」「大丈夫？」

前に嫌なことがあって落ち込んでいた時、友だちが「どうしたの？」「大丈夫？」と優しく声をかけてくれてうれしかったです。その友だちは、人を大切にする優しい心をもっていたから、その行動ができるのだと思います。私も、友だちが落ち込んでいたら声をかけたいです。

「自分のことを好きになろう」

私は、何か上手くいかないことがあると、「自分が嫌だ。嫌い」と言ってしまうことがありました。でも、それを聞いたお母さんが、「そんなことを言わないで、自分のことを好きになろう」と言ってくれました。その通りだと思い、それから何か嫌なことがあっても、こんな自分もいいよね、と思えるようになりました。

「自分を大切に！」

国語の授業で自分の大切なものをグループになって発表する時に、私が、私の大切なものである、「思いやりの気持ち」について発表し終わったら、「自分のことも大切にしていね」とグループにいた友達が言ってくれて、とてもうれしくなりました。

「ありがとう」、「どうぞ」

後ろの人に紙を渡すときに、「ありがとう」と必ず言ってくれるからすごくうれしいし、次もしっかり「どうぞ」と言って渡したくなります。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。